

岸和田市廃棄物減量等推進審議会会議録

会議名	第53回 岸和田市廃棄物減量等推進審議会
日時	平成29年11月16日(木) 午後3時00分～午後4時30分
場所	市立産業会館 3階大会議室
出席委員	石田委員、伊藤委員、河畑委員、木下委員、坂井委員、田村委員、永谷委員、 原委員、藤沢委員、藤原委員、堀野委員、藪野委員、山中委員、米本委員 以上14名
欠席委員	額原委員、前田委員、吉田委員 以上3名
事務局	赤井市民環境部長、谷藤環境課長、重田参事、藤本主幹、西村主幹、山本主査 以上6名
傍聴者	0名
次第	1. 役員の選出 2. 役員のあいさつ 3. 議事 (1) 岸和田市一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)の改定について (2) その他
会議録調整・承認	会長承認 11月28日 ・ 堀野委員承認 11月29日

(事務局)	<p>それでは、只今から第 53 回岸和田市廃棄物減量等推進審議会を開会させていただきます。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本来ですと、ここで、会長による開会と運営をお願いするところですが、本日委嘱が行われたばかりでございます。委員の互選によりまして、仮議長を選出する方法もございますが、いかがいたしましょうか。</p>
(委員)	事務局で運営していただいているかがでしょうか。
(事務局)	ただ今、「事務局で運営していただければ」との意見をいただきましたが、役員選出までの間、市民環境部長が進行させていただいてよろしいでしょうか。
(委員)	異議なし
(事務局)	そうしましたら、役員の選出までの間、市民環境部長が進行させていただきます。
(事務局)	それでは、役員選出までの間、私の方で進行させていただきます。まず、事務局より、委員の出席状況の報告をお願いします。
(事務局)	それでは、本日の委員出席状況を報告いたします。現在 14 名の委員さんが出席していただいております。本審議会委員総数は 17 名でございます。本市「廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例施行規則」第 4 条の 5 第 2 項の規定により、過半数の出席をもって有効に成立していることを報告いたします。
(事務局)	<p>続きまして、次第 1 の役員の選出をお願いします。現在、委員改選に伴いまして、会長、副会長が空席となっております。会長、副会長の選任につきましては、本審議会規則第 4 条で、「委員の互選により定める」と規定されております。</p> <p>まずは、正副会長の選任についてお諮りいたしますが、いかがいたしましょうか。なにかご意見ございませんか。</p>
(委員)	事務局の案などはありますか。
(事務局)	事務局の案との声がありましたので、事務局の提案をお願いします。
(事務局)	本審議会におきましては長年、岸和田市町会連合会からご推薦いただいた委

	員さんに会長を、岸和田商工会議所からご推薦いただいた委員さんに副会長をそれぞれお願いしております。今回も会長には町会連合会から推薦の木下委員を、副会長には商工会議所推薦の原委員をと考えておりますが、いかがでしょうか。
(委 員)	異議なし
(事務局)	ありがとうございます。それでは、正副会長が決定ということで、会長・副会長は、正面にご着席ください。それでは恐れ入りますが、木下会長に、ご挨拶をお願いいたします。
(会 長)	ただいま、皆さん方からご承認いただきました町会連合会会計の木下でございます。今期も前回に引き続き会長ということでご承認いただきました。微力ながら精いっぱい頑張っていきたいと思っております。今後の審議会の進行等につきましては委員の方々のご協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。
(事務局)	ありがとうございました。続きまして、原副会長ご挨拶をお願いします。
(副会長)	みなさんこんにちは。廃棄物減量ということで今まで先ほど紹介があったように、分別収集であったり、ごみ有料化であったりいろいろな形で取り組みしてきました。市民のご協力で一定の成果を上げているものの、まだまだいろいろな問題が発生してきているということで、また皆様方と審議しながらごみの減量を進めていきたいと、会長を補佐しながらやっていきますのでどうぞよろしく申し上げます。
(事務局)	ありがとうございました。会長が選出されましたので、これ以降の議事については会長をお願いします。木下会長よろしく申し上げます。
(会 長)	審議に先立ちまして、会議録作成に関して決定しておくことがあります。今回の審議会の会議録についてはこれまでと同様に、事務局で素案を作成し、会長が調整のうえ、会長及び会議において会長が指名した委員が承認したいと思っておりますので、ご異議ございませんか。
(委 員)	(異議なし)
(会 長)	私と一緒に会議録を承認いただける方を1名、指名させていただきます。堀

	野委員さん、よろしくお願い致します。
(委員)	はい、承知いたしました。
(会長)	次に審議に入る前に、事務局から確認事項と依頼事項があると聞いておりますので、説明をお願いします。
(事務局)	<p>それでは、まず確認事項としまして、資料の確認をお願いいたします。前もってお渡ししていますのが</p> <p>資料1 岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）素案 資料2 岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）概要版 資料3 岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）平成25年4月策定版</p> <p>それと参考資料といたしまして平成28年度岸和田市廃棄物統計書の4点でございます。</p> <p>それに加え、本日追加で配布しておりますのが、 まず次第、委員名簿と席次表、審議会規則、あと資料4といたしまして岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の改定について 説明用資料、資料5としまして、大沢町の浸水被害への対応について（報告）、でございます。</p> <p>皆さん、お揃いでしょうか。</p> <p>次に依頼事項としまして、事務局より会長にお諮りしたいことがあります。</p> <p>本日の審議会は、岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の改定についてご審議いただくのが主になっております。今回の改定にあたっては、岸和田市、貝塚市、それと岸和田市貝塚市クリーンセンターを管理運営する岸和田市貝塚市清掃施設組合の三者で策定期や目標年度を整合させるため、それぞれの計画の改定作業を同時進行で行っております。さらに施設組合にて策定業務を委託しました株式会社エイト日本技術開発を加え四者でこれまで協議を重ねながら進めてまいりました。</p> <p>本日、株式会社エイト日本技術開発から神谷さんと伊藤さん、そして岸和田市貝塚市清掃施設組合から小南さんと猪口さんが同席しております。本審議会規則第6条の規定に基づき、本日の議事進行の中で事務局とともに、これらの関係者の方々にも必要に応じ説明をしていただくため、引き続き同席させていただきたく、会長にお諮りいたします。</p>
(事務局)	ただいま、事務局よりお話がありましたが、私はこのまま同席していただいて構わないと思います。委員のみなさんもそれでよろしいでしょうか。
(委員)	(異議なし)

<p>(会 長)</p>	<p>それではそのようにお願いします。 それでは、これより、次第3の議事に入ります。 まず議案1について事務局より資料に基づき説明してもらいます。 そのあと委員みなさんにご意見を伺いたいと思います、では、事務局より説明願います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>それでは、議案1「岸和田市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の改定」について説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">資料説明《資料1～4説明》</p>
<p>(会 長)</p>	<p>ただいま、事務局より「一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の改定」について説明がありました。今回示してもらっている素案は、あくまでも策定に向けた、たたき台でありますので、この件につきまして委員の皆さんより忌憚のないご意見をお願いします。</p>
<p>(委 員)</p>	<p>すみません。少し確認したいところが二箇所あります。10ページと11ページなんですけど、10ページはごみの分別の方法が書かれていて、11ページは資源化の状況が説明されていると思うんですけども、例えばさっきご説明にあった10ページには食品トレイは市では集めていませんというお話があつて、でも11ページにはトレイが記載されているんですね、資源化に関する状況のところ。こういう項目が増えているという齟齬もあるんですけど、逆に粗大ゴミとかは、資源化のところ状況が書かれていないので、分けて出しているんですけどその後どうなっているんだろうということもあるかと思ったので、10ページと11ページ表の違いが気になりました。そこが一点と、もう一つ見方が分からなかったのが24ページの参考程度に見てくださいと言われた、このポイントなんですけど、さっきのご説明ではこれは偏差値だということだったので、平均が50のところ赤線が引かれているんですけど、これが0に近いほうが評価が高いのか、0から遠いほうが評価が高いのかが分かりにくかったので、これを見た時に説明がないかなと思って一回見たんですけど結局よく分からなかったんで、ここの表の見方が気になりました。以上の二点お願いします。</p>
<p>(会 長)</p>	<p>事務局で説明お願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>まず10ページと11ページの表についてですが、おっしゃる通りですね。どちらか書くのであれば、どちらも書かないといけないと、食品トレイとか。この辺検討して変えていきたいと思います。あと粗大ごみにつきましては、12ページには文言として書いているのですが、クリーンセンターのほうで処理して</p>

	<p>資源化になるものは資源化しているのですが、それを表に反映させるかどうか検討させていただきたいと思います。24 ページの評価支援ツールにつきましては、一応偏差値が高ければ成績がいいというような形になろうかと思いますが、ちょっとこのツールも環境省のほうからそのまま引っ張りだしてきたものなのですが、これをそのまま引っ張りだすのが正解ということではなく、この辺を分かりやすく比較できるグラフにするよう検討していきたいと思います。</p>
(委 員)	<p>もしもこの評価ツールを使われるのであれば、偏差値ということであればだいたい 30~70 ぐらいの間に散らばると思うので、0~100 まですると、ほぼほぼ平均のところとかぶってしまうので、スケールをもう少し大きくとっていただければいいかと思います。</p>
(事務局)	<p>はい、参考にいたします。</p>
(会 長)	<p>他にご質問はありませんか。</p>
(委 員)	<p>すみません、前もって資料を届けてもらっていたのですが、ほんとにまだ見られていない状況なんですけど、審議会のスケジュールなんですけど、これを作成するまでにどれぐらい審議会は開催されるのか。今日は全部気が付いたところはお話ししておいたほうがいいのか。まだ持って帰って勉強する時間があるのか。教えていただけますか。</p>
(事務局)	<p>すみません。その辺の説明のほうが不足していました。今回の作成に関して、意見を頂戴する機会に関しては、今現状で考えているところが今回一回限りを考えております。意見があれば今回頂ければと思います。審議회가終わってから、こういうのもあるんですけど、ということがあっても問題ありませんので、その都度反映させていただきたいと思います。</p>
(委 員)	<p>一つ気になるところが、52 ページのところなんです。52 ページの事業スケジュールと届けてもらった資料 3 のほうと照らし合わせてみた時に、前の分は行政における、市民における、事業所におけるという分け方で表にできあがっているんですけど、今回も事業がたくさんある中で市民・事業者・市のそれぞれ役割と責務とかがはっきり出てるほうがいいのかと感じました。今回の分はここが分かりにくいと思います。あと環境教育のところなんですけど、49 ページです。環境教育というのはもちろん学校での部分も入っているんですけど、さきほど正しい分別は大切なんだろうなあって思った時にですね、もっと市民が気軽に参加できる学習機会をやっていかなければならない。前に比べたら少なくなってきたと感じました。27・28・29 年と上げていただいているんですけど、</p>

	<p>出前講座なんかは各種団体の依頼を受けて行政の方が来ていただいて開催するという形になっていると思います。そうではなくてもっともっと市民に正しい分別を働きかけていきたいなあと思いますので、こちらにも廃棄物減量等推進員さんがおられますが、市内にもたくさんおられますのでいっしょに取り組んでできればと思います。</p>
(事務局)	<p>貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃる通りで教育とか出前講座であるとか今まで受動的な立場でしておりました。依頼を受ければ何うと。今後指導・啓発していきますよというような中でも、当然うちのほうからどんどん発信していく、うちのほうからどんどん出向っていく。非常に重要なところかと思えます。今後どういったことが出来るかとか検討したうえで積極的に取り組んでいきたいと考えております。</p>
(会 長)	<p>他にご質問はありませんか。</p>
(事務局)	<p>先ほども申し上げた通り、審議会は今回のみの開催と考えていますが、今日説明させていただいてすぐに意見を出してもらおうというのなかなかと思いますので、一度持ち帰ってから、今日会話した内容も踏まえてまた気付いたことがありましたらメールでも電話でもなんでも結構ですのでご意見いただければと思いますので、作成にあたってはまだ差し迫った状況ではなく今年度末までに作ればよいというお話なのでまだまだ時間はありますので、どんどんご意見をいただければと思っております。</p>
(会 長)	<p>もう無いようですので、議案2のその他に入ります。事務局から報告はありますか。</p>
(事務局)	<p>先日の台風21号に際して発生致しました災害ごみについて、この審議会について報告させていただきたいと思えます。</p>
<p>資料説明《資料5説明》</p>	
(会 長)	<p>ありがとうございました。ただいまの事務局の報告について何か質問はございませんか。</p> <p>さきほど、事務局から説明ありました大沢町のごみにつきましては、山滝の校区長から現状の報告がございまして、まだまだ道が通行できていないということで市のほうで真っ先に道路のほうを開通するというふうに報告を受けました。泥とかはボランティアでやっていただいたと聞いてるんですけど、まだまだ中に入ることはできずに、一切手がつけられない状態であると校区長のほう</p>

<p>(副会長)</p>	<p>から緊急で報告していただきました。確かにひどい状況になっていると聞いております。環境課のほうからも応援していただいて、一日でも早く復旧できるよう我々としても願うところであります。他に何かございませんか。</p> <p>ちょっと先ほどの分で、この計画の中でリユース品譲渡会やリサイクルボードとか市役所のことを言っているんですけど、なかなか来られた人も気がつかないし、廃食用油というのは町会長やっけて集めているんですけど、油とかもらったんですけど期限切れということではいっぱい捨てに来る人がいるんですよ。そういうのを欲しい人がいたら消費生活での不用品交換でも十分機能していますし、さっきアプリというのをお話がありました、SNSとか今のこういうインターネットの時代なのだから、ネットで仲介するような形でマッチングできるようなそんなアプリの方法のほうが、リサイクルボードよりいいのかなあとと思います。私も詳しくないですが、そういうのを計画で入れたらいいんじゃないかなと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。この計画の中でそういったことまで踏み込めるか。うちのほうで吟味出来て実際に書けるかどうかわからないんですけど、実際に計画してやる段階におきまして、指導啓発とか今やっている内容を成熟化させるとか話がありますので、リサイクルボードの件も含めて今あるやり方がほんとにいいのかどうか検討してよりよい方法で皆様をお願いしたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>私たちも不用品交換事業しておりまして、家で使わなくなったものをいる方を買っていただいて、そういうふうな事業もしております。そして廃食用油で石鹼づくりもしております。ですが石鹼は検査をしないと売れないみたいです。だから私たちの会だけでほしい人に差しあげたりしているのですが、なかなかそういうふうなことで廃食用油うちの会の人も持ってきてはいただけてますが、市で回収した廃油までは、使わせてもらっていない。そういうふうなこともごみの減量につながると思います。私たちも一生懸命環境の事を考えてやっております。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。リサイクルの関係でいつもお世話になっております。今後ともいい形でお互いリサイクル減量に協力していければと考えております。</p>
<p>(会長)</p>	<p>他に意見はありませんか。事務局もありませんか。 無いようですので本日の審議会はこれにて終了致します。</p>